

葵陵二ユース

2006 JULY 第8号

葵陵旋風巻き起せ!

初の全国大会へ

我がが葵陵イレブン(は、宿敵水戸商業を延長の未破り、初のインターハイ出場を決めた。「心でつなぐサッカー」、「絶対にあきらめない」という、部員全員の熱い思いがとうとう実を結んだ。初の全国の舞台では思いい

サッカー

きり走り、跳び、GOALを決めて欲しい。
準々決勝 土浦(二二〇〇)
準決勝 鹿島(二一〇〇)
決勝「延長」 水戸商(一〇〇)

堂々の県大会優勝

個人戦も二人が本大会へ!

常勝 剣道部の圧倒的な強さはそのスロアードで一目瞭然。個人戦も本校の金井佑太、遅野井直樹の二人が代表表を勝ち取った。それに着るべく、「勝つて鬼の緒を握める」葵陵剣士。その理由は目標が、全国制覇だからである。

剣道

準決勝リーグ 下館二(五二〇〇) 清真(五一〇〇) 湖北(四一〇〇) 決勝 土浦日大(二二〇〇) ※このほど金井、遅野井、女子の小貴貴美(明光)が団体選抜選手に決定した。「快哉!」

男女ともに大活躍

女子柔道部が県大会一回体優勝を果たした。男子は惜しくも準優勝にとどまったが、個人戦に於いては男女ともに三名ずつが茨城代表となった。

柔道

女子柔道部が県大会一回体優勝を果たした。男子は惜しくも準優勝にとどまったが、個人戦に於いては男女ともに三名ずつが茨城代表となった。

二年連続 インターハイ出場!

ボクシング

市村君は昨年に続き二度目のインターハイ。また、今年は関東大会本選では見事、優勝を遂げている。得意技のボクサーグローブを是非、決めて欲しい。

山岳

県大会準優勝。安島昭太、山岳ジュニアオリンピックカップ(JOC)は園からそうそうたるメンバーが集まるスポーツクライミング大会。彼はクライミング技術に定評がある。

がんばれ 山男!



栄えあるインターハイ JOC 代表選手

サッカー

高橋孝平(勝田三) 大久保元貴(水戸二) 佐久間陽平(明光) 福田依史(明光) 植木克好(府中) 寺門裕典(水戸五) 皆川哲史(日高) 秋葉崇広(那珂一) 長谷川立樹(美野里) 相田光雄(八千代二) 市毛大樹(千波) 片岡俊介(岩瀬西) 川崎雅史(東海南) 鈴木僚(千波) 前野洋平(八千代二) 分部大佑(勝田二) 菊池峻(水戸二) 鈴木翔伍(台原) 小野瀬宏樹(玉造) 大内裕太(東海) 鈴木裕輔(双葉台)

剣道

遅野井直樹(明光) 金井佑太(極木) 小曾納匠(極木) 戸崎聖(国田) 中山直樹(水戸四) 東出智義(太田南) 高島佑太(那珂三)

柔道

榎山加奈(十王) 太田友美(笠間) 田所美音(下館西) 豊田幸(栃木・益子) 倉持木綿子(都和) 大森直樹(大久保) 山田恭平(那珂湊) 水巻元氣(十王)

ボクシング

市村友樹(勝田二)

山岳

安島昭太(水戸一) 鈴木さとみ(稲岡)

楽しかった葵陵祭

六月一六・一七日と葵陵祭が開催されました。発表、展示、模擬店と趣向は様々。保護者の方もたくさんおいでくださいました。盛り上がりもピークを過ぎた頃、今年度は英宏中学校の生徒さん達が来校し、再び大盛況となりました。写真は左から三年生のモサイクアート「頑張れ受験生」。中央が「大モナリザの微笑(5x7m)」。右は思い出の味となった、お好み焼き屋とさの看板娘です。



文芸部

全国大会

関東大会出場

文芸部は「Graffiti 2010」により、第三〇回全国高等学校総合文化祭(八月二日・六日)と、第八回高校生文芸道場関東ブロック大会(八月一八日)に出場することが決定しました。その地道な活動が実を結び、小説、詩、短歌と幅広いジャンルで全国に名を馳せています。今後の活躍にぞの期待!



も勉強になりました。先輩の「マンサンプルス」リットを受け継いでがんばります。「これからも心地よい音色を聴かせてください」

音楽部

関東大会出場

全国大会

葵陵祭や野球応援等を大いに盛り上げてくれるブラスバンド部が「水戸地区高校音楽祭」に参加しました。部長の佐藤茶菜さん(桜丘)は「とても場開きプロック大会(八月一八日)に出場することが決定しました。その地道な活動が実を結び、小説、詩、短歌と幅広いジャンルで全国に名を馳せています。今後の活躍にぞの期待!

医歯薬

特別授業

本年度四月から医歯薬コース一、二年生に対して現職の医師や医歯薬系大学の先生方を講師にお招きして、毎月一回特別授業を実施しています。その内容に関するレポートは講師の先生方に提出し、添削を受けます。四人の先生方の授業は将来命に携わる職業に就くことを目指す者にとって非常に有意義な時間でした。



○四月 県医師会会長 原中勝征先生 「医師の倫理」
○五月 県医師会副会長 斉藤浩先生 「科字のこころ」

○六月 県医師会副会長 石島敦志先生 「先輩達から得た教訓」
○七月 県医師会副会長 小松満先生 「関節鏡での出会い」

人体の不思議展

PREMIER OF THE HUMAN BODY

医歯薬コース一、二年生は横浜産管ホールで行われた、「人体の不思議展」を見学しました。初めは戸惑いを隠せませんでしたが、人体・科字の奥深さ、命の尊さ等、確かな感動を覚えて帰ってきました。「MYSTERY OF HUMAN BODY」この経験も忘れられない高校生活の一ページとなりました。